

中国・四国ラリーシリーズにおける 新型コロナウイルス感染症対策のガイドライン

Ver2 (2020/07/26)

1. 政府より発表された、催事の開催にあたっての留意事項により、以下を定める。

①参加者

- ・発熱等の症状がある者はイベントに参加しないこと。
- ・イベントに参加する前に接触確認アプリをインストールすること。
(アプリがインストールできない場合、2週間前からの行動を記録しておくこと)
また、感染拡大防止のためにイベント主催者から連絡先登録等の求めがある場合には積極的に応じること。
- ・イベントに参加する際には、熱中症等の対策が必要な場合を除き、原則、マスクを着用すること。また、こまめな消毒や手洗いなど、「新しい生活様式」に基づく行動を徹底すること。
- ・イベントに参加する際には、入退場時、休憩時間や待合場所等を含め、いわゆる三密（密集、密接、密閉）の環境を避けるほか、そこにおける交流等を控えること。
- ・イベントに参加する前後には、移動中や移動先における感染防止のための適切な行動（例えば、打ち上げ等における感染リスクのある行動の回避）をとること。

②オーガナイザー

- ・入場時等に検温を実施し、発熱等の症状がある者はイベントの参加を控えてもらうようにすること。その際の払い戻し措置等を規定しておくこと。
- ・イベントを開催する前に、イベント参加者に接触確認アプリをインストールすることを促すこと。また、感染拡大防止のためにイベント参加者の連絡先等の把握を徹底すること。
- ・イベントを開催する際には、熱中症等の対策が必要な場合を除き、原則、マスクを着用することを促すこと。また、こまめな消毒や手洗いなど、「新しい生活様式」に基づく行動を徹底することを促すこと。
- ・イベントを開催する際には、入退場時、休憩時間や待合場所等を含め、いわゆる三密（密集、密接、密閉）の環境を作らないよう徹底するほか、そこにおける交流等を極力控えることを呼びかけること。
- ・イベントを開催する前後には、観客やスタッフ（選手、出演者を含む）の移動中や移動先における感染防止のための適切な行動（例えば、業務上必要性のない外出等による感染リスクのある行動の回避）を促すこと。
- ・その他、感染拡大予防のための業種別ガイドライン等に則した感染防止策を徹底すること。

2. 実際の対策方法として以下を実施する

①すべての関係者

- ・他人との距離が2 m以上取れない場合は必ずマスクを着用（但し熱中症に注意）
- ・マスクを着用した場合でも1 mの距離を保つ
- ・接触確認アプリ（COCOA）をインストールする（不可能な場合は行動を記録）
- ・特にアプリ使用時でも、自宅から競技会会場までの行動は記録しておく
- ・原則として、2週間前からの体温を所定のフォームにてオーガナイザーに報告する
- ・競技会当日の検温で発熱等の症状がある場合は、イベントに参加しない
- ・会話する場合は挨拶程度の短時間に止め、更に正面にならないように配慮する
- ・常に手洗い・手指消毒が出来る体制を整える
- ・競技会終了後に感染の疑いが生じた場合は、必ずオーガナイザーに連絡する

②選手（クルー）

- ・社会的距離の確保が難しいため、競技中はバラクラバを着用する事が望ましい
- ・コドラは必ず唾液の飛散防止対策を行う
- ・車中では必ず外気導入等で換気（リアウインドウを密閉しない等）を行う

③サービス

- ・車両整備の最少人数の登録のみとし、不必要な人員（炊事等）の登録は行わない
- ・食事等が密にならないように、個食（弁当等）を推奨する
- ・食事はマスクを着用していないので、会話は極力せずに2 m以上の距離を保つ

④オフィシャル

- ・室内・車内で作業する場合は、マスクを着用し十分な換気を行う
- ・室外・車外で作業する場合は、マスクを着用し他人との距離を保って作業を行う

⑤観客

- ・中国・四国ラリーシリーズにおいては、当面の期間を無観客で行う

⑥J A Fの「国内モータースポーツ活動再開に係る対応」について

- ・COVID-19感染防止対策により競技方法を変更する場合は公式通知にて公示する

以上

「新しい生活様式」の実践例

(1) 一人ひとりの基本的感染対策

感染防止の3つの基本：①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い

- 人との間隔は、**できるだけ2m（最低1m）**空ける。
 - 会話をする際は、可能な限り**真正面を避ける**。
 - 外出時や屋内でも会話をするとき、**人との間隔が十分とれない場合は、症状がなくてもマスクを着用する**。ただし、**夏場は、熱中症に十分注意する**。
 - 家に帰ったらまず**手や顔を洗う**。
人混みの多い場所に行った後は、できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
 - 手洗いは30秒程度**かけて**水と石けんで丁寧に洗う**（手指消毒薬の使用も可）。
- ※ 高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

移動に関する感染対策

- 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
- 発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする。接触確認アプリの活用も。
- 地域の感染状況に注意する。

(2) 日常生活を営む上での基本的生活様式

- まめに**手洗い・手指消毒** 咳エチケットの徹底
- こまめに換気（エアコン併用で室温を28℃以下に） 身体的距離の確保
- 「**3密**」の回避（**密集、密接、密閉**）
- 一人ひとりの健康状態に応じた運動や食事、禁煙等、適切な生活習慣の理解・実行
- 毎朝の体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養



(3) 日常生活の各場面別の生活様式

買い物

- 通販も利用
- 1人または少人数ですいた時間に
- 電子決済の利用
- 計画をたてて素早く済ます
- サンプルなど展示品への接触は控えめに
- レジに並ぶときは、前後にスペース

公共交通機関の利用

- 会話は控えめに
- 混んでいる時間帯は避けて
- 徒歩や自転車利用も併用する

娯楽、スポーツ等

- 公園はすいた時間、場所を選ぶ
- 筋トレやヨガは、十分に人との間隔を
もしくは自宅で動画を活用
- ジョギングは少人数で
- すれ違うときは距離をとるマナー
- 予約制を利用してゆったりと
- 狭い部屋での長居は無用
- 歌や応援は、十分な距離かオンライン

食事

- 持ち帰りや出前、デリバリーも
- 屋外空間で気持ちよく
- 大皿は避けて、料理は個々に
- 対面ではなく横並びで座ろう
- 料理に集中、おしゃべりは控えめに
- お酌、グラスやお猪口の回し飲みは避けて

イベント等への参加

- 接触確認アプリの活用を
- 発熱や風邪の症状がある場合は参加しない

(4) 働き方の新しいスタイル

- テレワークやローテーション勤務 時差通勤でゆったりと オフィスはひろびろと
- 会議はオンライン 対面での打合せは換気とマスク

※ 業種ごとの感染拡大予防ガイドラインは、関係団体が別途作成